



A 昌傳庵

マップ
エリア C2

伊達政宗公の4代前にあたる尚宗公が三男・久松丸の菩提寺として米沢に建立。岩出山を経て1602(慶長7)年に現在の場所へ。過去2度の大火に遭い、現存する本堂は240余年前のもの。本堂には藩政時代に使用された駕籠が残る。



B 愛宕神社

マップ
エリア A2

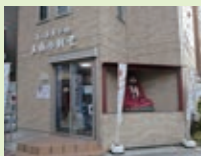
伊達氏と共に米沢から岩出山を経て現地に移った。秋保石の長い階段を上ると、太平洋や蔵王連峰を望むことができる。本殿や拝殿は仙台市の指定有形文化財。



C 東北学院旧宣教師館(デフォレスト館)

マップ
エリア A1

旧東華学校の教師として来仙したデフォレスト宣教師一家が明治期を過ごした木造2階の洋館。菱格子で装飾した天井や大きな窓、ペランダなどコロニアル様式の特徴が随所にみられる。1887(明治20)年に建築され、1940(昭和15)年より東北学院の所有に。2016年国の重要文化財に指定された。※写真提供:学校法人 東北学院



D 五橋小新堂

マップ
エリア B1

1923(大正12)年に創業、キセルを持った「だるま」が目印の菓子店。食パンにクリームやあんをはさんで揚げる「揚げパン」が人気。「宮城野の月」など昔ながらの懐かしい味のする菓子が多い。
☎022-222-6864 ㉑7:30~18:00※土曜10:00~17:00
㉒日曜・祝日(7・8月は土曜も休み)



E 和醸良酒 隆の恵

マップ
エリア B1

本格中華のお店。お昼はラーメンや定食を提供。テイクアウトの弁当は種類が豊富で、メインのおかずは鶏のから揚げが付いてお得感たっぷり。夜は居酒屋となり、中国酒のほか、日本酒も多数取り揃えている。
☎022-724-7665 ㉑11:30~14:00/18:00~22:00 ㉒不定休



F 及川酒店

マップ
エリア B1

藩政時代に麴屋として現地に創業し、明治時代に酒屋に。東北各地の地酒を扱う。月2回の「荒町商店街ふるしき市」では軒先を貸出し、店頭がにぎわう。Twitter、Facebookあり。
☎022-223-2885 ㉑9:00~20:00※日曜・祝10:00~19:00
㉒第2・4日曜(1月1、2、3日も休み)



G 仙台七宝(菅井久江工房)

マップ
エリア C1

七宝焼の個人工房。油絵を学んだ作家が、魔除けの色と言われる赤の色合いにこだわったアクセサリや、釉薬で繊細に描いた七宝画などを制作展示・販売。不定期営業のため、訪問時は事前に連絡を。
☎022-263-9433 ㉒不定休



H こくちょう菓詩屋

マップ
エリア C2

2016(平成28)年1月にオープンしたアットホームな洋菓子店。「お菓子にも食べ頃がある」とおいしく食べてもらうことにこだわった菓子が並ぶ。えごまを使用したスイーツとチーズケーキが人気。
☎022-706-6452
㉑11:00~17:30※土曜11:00~18:00/日曜11:00~15:00 ㉒火曜



I Hit Cut

マップ
エリア B2

サイドを刈上げ、前髪をアシメトリーにし、後頭部を「V」のシルエットにする「仙台刈り」で話題の理髪店。前髪は伊達政宗公の前立を、Vは震災に打ち勝つ「Victory」を表現している。
☎022-224-6029 ㉑8:00~19:00(希望に応じ早朝も対応)
㉒月曜・第3日曜※予約優先



J 旬の味 伊藤屋

マップ
エリア B1

地元で愛される和食店。ランチメニューのはらこ、かに、鯛、牡蠣などを使った季節の蒸しご飯が人気。夜は、お得な「晩酌コース」も提供。情緒漂う店内で、旬の味を堪能してほしい。
☎022-261-5869 ㉑11:30~13:30/17:00~22:00(L021:30)
㉒日曜・祝日



K 佐藤麴味噌醤油店

マップ
エリア C1

1603(慶長8)年に元荒町(現在の一番町)で麴屋として創業し、ほどなく現地に移転。伊達政宗公により麴屋が集められた荒町で、現在も麴を扱うのはここだけ。昔ながらの製法で醸す味噌や醤油が人気。
☎022-222-4712 ㉑8:30~19:00 ㉒日曜



L 森民酒造本家

マップ
エリア C1

1849(嘉永2)年に、麴屋を営んでいた店をそのまま買い取り、造り酒屋を創業。現存する蔵はその当時からのも。南部杜氏による酒造りは、創業以来の伝統を受け継ぎ、日本酒本来のコクと旨みを備えている。
☎022-266-2064 ㉑9:00~18:00 ㉒土・日曜・祝日



M 旅館 森重

マップ
エリア B1

白い土蔵造りの重厚感ある老舗旅館。部屋ごとに異なる趣と温もりのあるおもてなしで宿泊客の旅の疲れをいやしている。
☎022-222-5373



N 酒のこまつ 吉野屋酒店

マップ
エリア B1

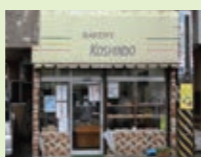
1940(昭和15)年頃創業の老舗酒店。北は青森から南は沖縄まで全国の蔵元へ赴き、日本酒・焼酎を直接買い付けている。特に山口県の「雁木」など、県内唯一の取り扱いという希少酒も少なくない。
☎022-222-6754 ㉑10:00~20:00 ㉒日曜・祝日



O だんご茶屋 あらまち

マップ
エリア C1

国産の材料を吟味した素朴な味わいのある和菓子店。手づくりのだんご、お餅、赤飯などを扱う。近くに寺が多いため、お盆やお彼岸も営業。
☎022-223-3434 ㉑9:00~18:00 ㉒不定休



P 広進堂

マップ
エリア C1

創業130年余の老舗ベーカリー。新鮮な北海道産小豆を使い、秘伝のレシピで炊いたあんをたっぷり詰めた「あんパン」は100年前から不変の人気メニュー。
☎022-222-2271 ㉑8:00~19:00 ㉒第5日曜



Q 爬虫類倶楽部 仙台店

マップ
エリア B1

仙台でも珍しい爬虫類の専門店。世界各国のカメ、トカゲ、ヤモリ、ヘビ等に加え、ハリネズミやモモンガなどの小動物も扱う。飼育道具や生き餌も充実の品ぞろえで、初心者には飼育方法を教えてくれる。
☎022-748-6028 ㉑13:00~20:00/日曜・祝日12:00~20:00
㉒月・木曜※祝日の場合は営業



R 西川玉林堂

マップ
エリア C1

1887(明治20)年頃に創業した書道用品専門店。書道家からのニーズにも応え得る筆や墨、硯、画仙紙などを取り扱う。特に筆は硬さ・太さ・素材の異なる700~800種類の商品をそろえている。
☎022-223-8217 ㉑9:00~18:00 ㉒第1・3日曜



道を歩けば見えてくる！
現代の街並みに残る城下町の面影

仙台城の築城が着手されたのは、1601年のこと。伊達政宗は普請開始の日に、自ら考えた城下町の屋敷割の図を普請奉行へ示したという。

現在も道筋がそのまま残る奥州街道は、政宗が城下町を南北に貫く幹道として整備したもので、道沿いには町人町が設けられた。現代では、街路で囲まれた区画を1ブロックとして扱うが、藩政時代の町人町は、街路を挟んだ両側の家々が1つの町となる「両側町」で、現代でも、古くからの町名が残る地域は両側町であることが住宅地図で見て取れる。

五橋駅以北の愛宕上杉通沿いや、東北大学・東北学院大学のキャンパス付近は、かつての侍屋敷。今でも比較的大きな区画の土地が残っているのは、この名残といえよう。

荒町は、伊達氏に従って米沢(山形県米沢市)、岩出山(宮城県大崎市岩出山)と移ってきた町人たちの町である「御譜代町」のひとつ。藩政時代は麴の製造や販売の特権を許された町で、現在でも荒町には味噌・麴店や造り酒屋が残るほか、元々は麴屋だったという古くからの商店もある。

ちなみに仙台城下では、町人の町屋敷は侍屋敷に比べ狭い間口6間、奥行25間の細長い敷地と定められており、これを「一軒屋敷」といった。しかし、町人の義務である「町役」の賦課基準が間口の長さ按比例していたことから、その後の売買や相続により土地が分割され、間口3間の「半軒屋敷」が増えた。現在でも荒町界限では、半軒屋敷の名残で南北に細長い敷地が散見され、奥行のある駐車スペースのさらに奥に家屋が配置されていたり、家の奥に別の家があったりする。マンションも、南北に長い物件が多い。

ところで、下級家臣であった足軽たちの住む足軽町は、当時の城下の周縁部に配置されていた。荒町の北側には、東七番丁~東九番丁が今に残る。仙台一高の近隣に位置する三百人町・五十人町は、足軽が300人、50人住んでいたことに、また、柴田町は宮城県柴田郡、成田町は宮城県石巻市成田(旧飯野川町の一部。藩政時代は桃生郡成田村)から召し出された足軽が住んでいたことに由来する町名。足軽たちは町単位で生活や祭礼を共にしており、氏神ともいべき神社を祭っていた。今でもそれらの神社は、地域の人々に大切に守られている。

「若林WALKER」とは

地域を愛する若林区民が、東北工業大学の学生と一緒にまちを歩き、取材をして作り上げた「まち歩きマップ」です。地域の魅力がたっぷり詰まった「若林WALKER」を片手に、あなたもまちを探索してみませんか？



若林の各地域を探索しました。



探索の成果を発表します。

若林区魅力発信事業

若林WALKER ~五橋・愛宕橋編~

企画	仙台市若林区まちづくり推進課 (公財)仙台ひと・まち交流財団 仙台市荒町市民センター
取材	若林区魅力★探検隊(16名)
協力	東北工業大学 学生 赤間大悟・石川駿・遠藤翔・大竹可真・菅野雄基・幾世橋哲矢・佐々木奏 沢水樹・庄子侑汰・田桑礼子・只野健一・照井瑞生・東瀬昇大・水野泰介 村山拓・梁田誠実・山下吉晟 東北工業大学 都市マネジメント学科 泊尚志研究室・菊池輝研究室
デザイン	東北工業大学 クリエイティブデザイン学科 篠原良太研究室 (遠藤匠太・白山雄太・芳賀玲菜・蛇石可奈子・星由希子)
印刷	ハリウコミュニケーションズ株式会社
発行	仙台市若林区まちづくり推進課 〒984-8601 仙台市若林区保寿院前丁3-1 電話022-282-1111(内線6136)

令和3年3月第4版発行 ※掲載情報は令和2年10月現在のものです

— 若林区魅力★探検隊 —

若林 WALKER

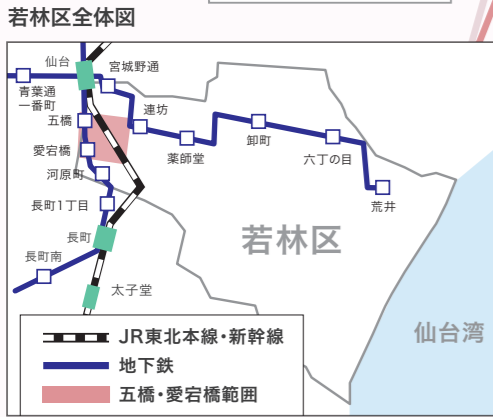
五橋・愛宕橋駅

ITSUTSUBASHI・ATAGOBASHI

五橋・愛宕橋駅

ITSUTSUBASHI / ATAGOBASHI AREA

この一帯は、伊達政宗による仙台城・若林城造営に伴い建設された城下町に始まる。藩政時代のメインストリートである奥州街道沿いは、かつての町人町。今も商店や飲食店が多く、地域の人で賑わう。当時の町名や街割が残るこのエリアでは、道路も、親しみを込めて昔のままの名前で呼ばれている。通りを一步奥に入れば寺社が立ち並び、過去の歴史が今に息づいていることを実感。平らな地形がほとんどの若林区だが、広瀬川が形成した河岸段丘に沿って昔からの坂道が見られるのも興味深い。ぜひ、古地図を片手に散策してほしいエリアだ。



凡例	
	JR東北本線・新幹線
	地下鉄
	五橋・愛宕橋範囲
	幼稚園
	保育園
	小中学校
	高等学校
	大学
	郵便局
	避難所
	寺・寺院
	神社
	史跡
	コンビニエンスストア
	地下鉄出入口

このマップに使用している写真は、2016年9月～11月に「若林区魅力★探検隊」が撮影したものです。



100m